

1 部

学習サポート

各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2018』にてご確認ください。
 - ・ p. 4～5→学年暦 ・ p. 22～25→通信教育部カレンダー
 - ・ p. 47～50→社会福祉士 演習・実習科目関連締切等
 - ・ p. 51～53→精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等

12 / 3～1 / 27 の追加・変更点

- スクーリング追加開講「福祉社会学」
【開講日】12/14～16 【会場】仙台駅東口キャンパス
※詳細は前号『With』133号 p. 24参照。

- 科目修了試験会場変更（1 / 20宇都宮）
（変更前）栃木県総合文化センター
（変更後）宇都宮市中央生涯学習センター ※ p. 17・18参照

「TFU オンデマンド」の使用停止期間について

- 下記の期間、オンデマンド・スクーリングなど、すべての「TFU オンデマンド」の機能が使用できません（詳細は p. 44～45参照）。
2019年3 / 5 正午 ～ 2019年3 / 10 正午

社会福祉士の受験勉強は メリハリが大切

教員 MESSAGE

教授 高橋 誠一

社会福祉士の国家試験まで、2か月ほどになりました。忙しい仕事の合間を縫って勉強されている方も多いと思います。受験に関して一般に言われることですが、試験内容だけでなく、試験の形式に慣れることも大切です。なにより、自信を持つこと、自分を信じるのが大切だと思います。不安があれば、自分の力も発揮できないからです。

マークシートは簡単に記載できる分、勘違いすると連鎖して思わぬ失点につながるかもしれません。また、記憶していれば何とかなる問題もあるかもしれませんが、問題を把握する読解力が重要です。これはすべての科目に共通しています。短い文章でも、主語述語関係をしっかり読み取れるようにしましょう。日本語は最後に否定か肯定かをはっきりさせますので、気つけてください。このようなアドバイスは何度も聞いておられるでしょう。そこで、もう一つ、勉強のメリハリのつけ方について話しましょう。

みなさんの時間は限られています。科目数も多いですが、時間的に制約があるからこそ、焦らず、メリハリをつけて勉強していくことが大切ではないかと思います。そこで、思い出していただきたいのが、SWOT分析です。わたしが担当している『福祉経営論』、受験科目では『福祉サービスの組織と経営』ですが、に出てきた経営戦略の分析方法です。まだそこまで手が回っていない方もいらっしゃるかもしれません。安心してください。復習もかねてお話ししましょう。

受験勉強にもマネジメントが必要だと思います。ただやみくもに勉強しても手ごたえを感じないかもしれません。厚い問題集を順番にやっても、なかなか先が見えてこないかもしれません。そんな時こそ、ちょっと立ち

止まって戦略を練り直しましょう。そのためのフレームワークの一つがSWOT分析です。

最初に、必要なことはまず目標の確認です。そして、目標を達成しようとする意欲です。意欲がなければ、目標達成はだんだん後回しになっていきます。「とは言われても、いまはちょっとスランプで」という方は、合格通知を受け取ったときの自分を想像してください。大変だったけれど、あきらめずに頑張った自分をほめてください。これが4か月後のあなたです。

さて、目標なくして戦略はありません。受験勉強の目標は、合格することです。これはどの受験生にも共通していると思います。とても明確です。人生には、目標をどう決めるかという難題がたくさんありますが、社会福祉士を目指して勉強を始めた皆さんには、明確な目標があります。合格したいという願い、合格できるという自信が大切です。みなさんのストレングスを活かしてこそ、目標をかなえることができます。

では、合格できる能力をどう身につけたらいいのでしょうか。その方法の一つがSWOT分析です。Sは個人の強み、Wは個人の弱さ、Oは環境の強み、Tは環境の弱さです。そこで、個人の強みと弱さと、環境の強み弱さをかけると、4つの組み合わせができます。

1. 個人の強みと環境の強み
2. 個人の強みと環境の弱さ
3. 個人の弱さと環境の強み
4. 個人の弱さと環境の弱さ

の4つです。それぞれに対応して、戦略のメリハリをつけますが、以下の戦略が妥当だと考えられています。

1. 積極的に展開
2. 差別化・特化・集中
3. 段階的展開

4. 守備・撤退

社会福祉士国家試験の受験勉強で考えてみましょう。個人の強みは自分の得意な科目、あるいは、得意な分野です。個人の弱みはその逆になります。そして、環境の強みは、問題の容易さと考えられるでしょう。環境の弱みは、問題の難しさということになります。このように整理すると、ただやみくもに勉強するよりも効果的な勉強の仕方が見えてくるでしょう。

模擬試験を受けられた方は、もう一度見返してください。この際、合格ラインに達しているかどうかとか、合格率〇〇%とかはあまり気にしないことです。それよりも、自分が得意な問題、不得意な問題、あるいはその分野、他の受験生ができた問題でできなかった問題を見比べてください。他の受験生ができなかった問題は、難しい問題でしょう。他の受験生ができた問題は、易しい問題と考えていいでしょう。そうすると、どの分野により注力すべきか、見えてくるのではないのでしょうか。とくに、自分にとっても難しい分野で、他の受験生にとっても難しい問題は、あまりエネルギーを注がない方がいいでしょう。それよりも、最低限の点数を確保することが大切です。たとえ、自分としては興味のある分野や科目であっても、受験勉強としてはそうすべきでしょう。

そんな話を通学のゼミでしたら、実は、私の担当している科目『福祉サービスの組織と経営』の模擬試験の結果が、まさに他の受験生も点数が低く、ゼミの学生の点数も低い科目だと言われてしまいました。ちょっと絶句してしまいました。戦略とは厳しい。他の大学の学生は不得手でも、東北福祉大学の学生は得意な科目にしたいと思いました。ゼミの学生に関しては、今年はどうも間に合わないかもしれませんが。みなさんもめげずに頑張ってください。

スクーリング・アンケートより(1)

アンケートより、スクーリングの感想を抜粋しました。

●地域福祉論 柴田 邦昭

- ・自分の住む地域の課題についても、考えるきっかけとなってよかった。実習へ向けてもさまざまな社会資源の存在や活用方法など学べて非常にためになった。
- ・一人ひとりが住んでいる空間は狭いが、抱える問題は大きく、そして重い問題ばかりである。ひとりの力では、とても解決できないことばかりである。専門的な知識や社会的資源を有効に、そして丁寧に使いながら一人ひとりに合った生き方や尊厳を守り支えあえる社会、地域であればいいと考えさせられた。

●社会保障論 阿部 裕二

- ・年金や医療保険、労働保険について、今まで知らなかったことがたくさんあり、どうすれば上手に活用できるかを知ることができた。今回の講義で社会保障についてもっと詳しく学びたいと思った。
- ・内容量が多く、何をどう理解していったらよいか良くわからなかったのですが、スクーリングを受講してみて、どのように整理していけばよいか少しわかった気がします。また内容を覚えることだけに必死になってしまいましたが、1つ1つの物事(制度など)に対して自分なりにどう思うのか、といった点もあわせて必要だと認識し、改めてより深い勉強が必要だと実感しました。

●公的扶助論 阿部 裕二

- ・生活保護に対する広義の意味、解釈がわかりとても参考になった。諸外国の例で、生活保護受給者に対する一方的な見方があることや、貧困は自己責任ではないことがわかり、少し正せたような気がする。
- ・阿部先生が実際に行われている子ども食堂の事例や、ホームレスとの関わりなど、実際の体験を聞くことができてとても良かったです。

●福祉社会学 赤塚 俊治

- ・福祉とは何か?ということを経済のうえでとらえていくことの大切さや、今後においても、豊かさを追求していくことへの自分自身の問いかけが広がったような講義であった。
- ・福祉社会学の考え方は初めてふれたので、予習の段階では良くわからなかった。今回スクーリングに参加することで福祉社会学がどのような学問であるか学ぶことができ、今後深めていきたいと感じた。